

鹿児島県柔道会だより

■発行人/北 哲郎 ■編集/総務部編集委員会 ■発行/財団法人鹿児島県柔道会(電話 099-222-7770)

年頭にあたり!

会長 北 哲郎



平成22年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、「柔道を通じた人づくり」と「武の国薩摩復活を目指した競技力の向上」の二点を最重点課題として取り組んで参りましたが、皆様方の御指導と御協力によりかなりの成果が上がり、その兆候が見えてきたものと確信しております。

今年も引き継いでその目的達成のために努力したいと考えております。

特に今年は、九州ブロック国体の開催県でもあり、何としても少年男子と少年女子が本国体の出場権を取得してくれることを期待しております。

また、いよいよ10年後には、鹿児島県で2回目の国民体育大会が開催される予定です。それに向けても柔道の競技力向上のための施策が必要だと思っております。

その他、今年は、寄附行為の定款への移行の年であり、理事長を委員長として、委員会を設立し、今年度中に手続きが完了することを目標にして、作業を進めています。

このような活動を中心に今年も県柔道会が一丸となって、柔道の普及発展の為に積極的に取り組んでいく所存です。役員をはじめ関係者の皆様方の御協力・御支援をお願い申し上げます。

県柔道会稽古納め

12月26日(土) 県柔道会館

恒例の稽古納めが、26日(土)県柔道会館で行われた。鹿児島県警と中学・高校・大学生ら63人が熱気ある稽古で汗を流し、一年間の稽古を締めくくった。

北 哲郎会長は、冒頭の訓示で、「今年も、全ての行事が、皆様方の御指導・御支援・御協力のもとに無事終了し、かなりの成果を上げることができたと確信し感謝している。その中でも、全九州高校総体で男女とも鹿児島県の高校チームが団体戦で2位と3位を独占し、また、全国高校総体では、鹿児島南高校女子が、団体戦で2年連続3位入賞するなど競技力の面でも向上が目覚しかった。来年は、これまで以上の成果を期待したい。」と挨拶

その後、取：富濱綾香三段(鹿児島南高校)、受：古賀ちなつ三段(鹿児島南高校)による「柔の形」が披露され、中菌雅博六段(県警機動隊)の指揮で乱取りが行なわれ稽古納めを終了した。

県柔道会稽古始め(鏡開き)

1月9日(土) 県柔道会館

県柔道会の稽古始めが、1月9日(土)県柔道会館で、120人が参加して行われた。

北 哲郎会長は、訓示の中で、「私は今年も、① 嘉納治五郎師範の理想とする「柔道を通じた人づくり」と「人間教育としての柔道」を目指す。② 「武の国薩摩」復活を目指した競技力向上。この2点を最重点課題として掲げて、県柔道会で一丸となって取り組みたい。そして今年、少年男女で国体出場を果たして欲しい。」と挨拶した。

その後、取：上村修五段(鹿児島水産高教)、受：庵之下武志四段(出水高教)による「極

の形」が披露され、中菌雅博六段(県警機動隊)の指揮で、乱取稽古に汗を流した。

その後、恒例の鏡開きがあり、準備された「ぜんざい」を2杯・3杯とお代わりしながら楽しく食べ、今年の稽古始めを終了した。



(支部だより9)

「県内で最も小さな支部」

伊佐支部 益満亮太

伊佐支部は、鹿児島県内の支部では最も小さな組織です。伊佐柔道スポーツ少年団と菱刈中学校柔道同好会の二つが、主な活動団体です。伊佐地区内の中学校と高等学校には、柔道部は、一つも存在しません。

鹿児島県内で一番小さな伊佐支部の紹介をします。

伊佐地区の柔道は、伊佐柔道会長の森好郎先生を中心に活動しています。

伊佐柔道スポーツ少年団は、森好郎先生が、昭和56年に立ち上げた組織です。最初は、大口柔道スポーツ少年団の名称でしたが、市町村合併で伊佐市になったのを機に伊佐柔道スポーツ少年団と名称を変更しました。

伊佐柔道スポーツ少年団は、団員が20人で、男女半々といったところです。伊佐警察署柔道場で、毎週火曜日と金曜日の夜に1時間30分ほど練習が行なわれています。菱刈中学校の同好会をはじめ大口中学校や山野中学校の生徒たちも練習に通っています。受け身や投げ技の指導をしています。保護者の中には、小学生や中学生の練習に加わり、受け身や技の指導をしている人もいます。また、

自分の子供が柔道を習い始めたのをきっかけに再び柔道着に手を伸ばした人もいます。道場には、子供たちと保護者の快活で元気な声が、響きわたっています。

菱刈中学校柔道同好会は、練習が週2回の少年団の練習にも毎回顔を出すなど熱心な稽古を行なっています。指導者の不足等に悩まされながらも、保護者による指導や積極的な対外練習などによって、県の強化指定選手や地区大会で優勝する選手も出てきています。

本年度は、伊佐市が、鹿児島県民体育大会の開催地でした。

小さい組織の伊佐支部ではありますが、出来る限りのことはしようということで準備を始めました。会場は、伊佐農林高等学校の体育館で実施すると決定したので、菱刈中学校の柔道場と伊佐市総合グラウンド武道場の2箇所から、柔道畳を運び、伊佐農林高等学校の体育館に設営することになりました。担当課の伊佐市役所林務課だけでは対応できず、他の課や保護者の応援を貰いながらの運搬することになりました。また、通常であるならば、掲示係等の補助役員には高等学校の柔道部員で対応するものですが、伊佐市内の高等学校には柔道部がないので、柔道をしたことのある高校生1名の他は柔道経験のある中学生を補助員に当てて対応しました。

伊佐支部単独のチームとしての参加は、今回が最後になるということで、これまで伊佐チームの主力として活躍してきた山神選手を軸として全選手ががんばり、大会を盛り上げてくれました。

また、投の形の演技をした中村選手と満塩選手は、松永理事長、木本事務局長、北菌師範、川辺支部の先生方の休日や夜の指導のお陰と本人たちの努力と精進で無事大役を果たしてくれました。皆さんに感謝しています。

最後に、小さいながらも伊佐支部は、一人一人が自分の得意技を出し合い、生かしあいながら、困難を乗り越え、力いっぱい練習と運営を行なっています。指導者が少なく困っています。加勢して見ようかという方は、是非お越し頂いて御指導ください。お待ちしております。

「柔心館道場の歩みと心得」

柔心館道場館長 西郷 昌隆

I 歴史

平成9年8月31日財部町南俣769(現曾於市)に開館した。

現在の門下生は、幼児から中学生まで43名が在籍。これまでの卒業生は、65名。

平成21年11月20日に、開館以来12年間の歴史が詰まった畳から、国際仕様の畳に入れ替え、将来の日の丸(日本代表)選手輩出を夢に、毎日の稽古に励んでいます。

II 道場目標

「捲土重来」

III 指導方針

「強い心・労わりの心・感謝の心」を育てる。

毎日の稽古では、必ず一人一人と目を合わせ、会話をし、お互いの信頼関係を築いています。教える側と教わる側の信頼関係があれば、厳しい指導にも、きつい稽古にもついて来てくれるものだと思っています。そして、結果だけに執心せず、一生柔道に携わってもらえる人材育成と、将来に繋がる基礎作りが目的であると考え、やらされる稽古でなく、自らやる気を持ってやる稽古を実践しています。

また、当道場には、柔心館マナーというルールがあり、門下生と保護者が一体となって取り組んでいます。その中で特に力を入れて指導しているものを紹介します。

- 1 道場及び試合会場に出入りする際は、立ち止まり、静止一礼すること。
- 2 常に清掃美化に努め、整理整頓を心掛けること。
- 3 携帯電話は、館内での使用を禁止する。
- 4 稽古を見学する者は、見る姿勢を整え、話し声・笑い声をたてず、稽古する者と指導者の妨げにならないこと。
- 5 試合に出発する時は、保護者も朝礼に参加し、注意事項を確認すること。
- 6 試合のとき、保護者は、応援席から大声で応援したり、罵声ややじを飛ばさない。また、試合中、保護者からの指示は、門下

生が混乱を招くため控えること。

以上、どれも当たり前ですが、常に礼節を重んじマナーの向上に努めています。

生徒や保護者は、指導者を見て育ちます。行動や言動に注意し、自覚を持って今後の指導に当たりたいと思っています。

最後に、私自身鹿児島で育てて頂いた一人の指導者として感謝の心を忘れずに今後も精進いたします。

各種大会の成績(10月～1月)

・県高等学校新人柔道大会

10月26日(月)・27日(火)

鹿児島アリーナ武道場

団体戦(男子)

- 1位 鹿児島情報高等学校
- 2位 甲陵高等学校
- 3位 鹿児島商業高等学校
- 4位 鹿児島工業高等学校

団体戦(女子)

- 1位 鹿児島南高等学校
- 2位 鳳凰高等学校
- 3位 出水中央高等学校
- 4位 隼人工業高等学校

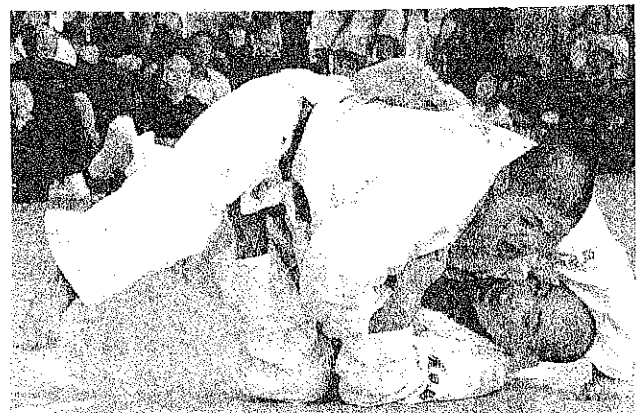
個人戦(男子)

60kg級

- 1位 鞘脇 健太(れいめい高等学校)
- 2位 前田 力丸(鹿児島実業高等学校)

66kg級

- 1位 田中 光(鹿児島商業高等学校)
- 2位 里村 勇昂(鹿児島工業高等学校)



73kg級

1位 中釜 貴文 (鹿児島商業高等学校)

2位 新山健太郎 (鹿児島商業高等学校)

81kg級

1位 茅野 圭祐 (鹿児島商業高等学校)

2位 上中別府健 (甲陵高等学校)

90kg級

1位 矢櫃 晃生 (鹿児島情報高等学校)

2位 小林 啓太 (鹿児島工業高等学校)

100kg級

1位 山平 隆太 (甲陵高等学校)

2位 若松 秀平 (鹿児島情報高等学校)

100kg超級

1位 大津聰一郎 (甲陵高等学校)

2位 溝口 恵祐 (鹿児島工業高等学校)

個人戦(女子)

48kg級

1位 児玉 千春 (鹿児島南高等学校)

2位 福山さくら (鹿児島南高等学校)

52kg級

1位 西村和華子 (鹿児島南高等学校)

2位 烏帽子美咲 (鳳凰高等学校)

57kg級

1位 新村 夏美 (鹿児島南高等学校)

2位 小林 愛鈴 (鳳凰高等学校)

63kg級

1位 松原 美穂 (種子島中央高等学校)

2位 丸尾 薫 (鳳凰高等学校)

70kg級

1位 長野 希美 (鳳凰高等学校)

2位 蔵菌めぐみ (鹿児島南高等学校)

78kg級

1位 吉時 恵 (鹿児島南高等学校)

2位 柳川 萌 (樟南高等学校)

78kg超級

1位 稲森 奈見 (鹿児島南高等学校)

・県少年柔道大会

11月15日(日) 県武道館柔道場

団体戦

1位 西之表黒潮柔友会

2位 柔心館道場

3位 青雲柔道クラブ

3位 末吉柔道スポーツ少年団

・九州高等学校新人柔道大会

11月21日(土)・22日(日)

小野体育館(諫早市)

◇団体戦 鹿児島情報高3位入賞

個人戦(男子)

66kg級

3位 田中 光 (鹿児島商業高等学校)

90kg級

2位 矢櫃 晃生 (鹿児島情報高等学校)

100kg級

2位 山平 隆太 (甲陵高等学校)

個人戦(女子)

70kg級

3位 長野 希美 (鳳凰高等学校)

・県スポーツ少年団競技別交歓大会

12月20日(日) 県武道館柔道場

団体戦

1位 末吉柔道スポーツ少年団

2位 正道館柔道スポーツ少年団

3位 南界柔道スポーツ少年団

3位 志布志柔道スポーツ少年団

・県高等学校柔道選手権大会

1月23日(土)・24日(日)

鹿児島アリーナ武道場

甲陵が2年ぶり優勝、鳳凰は初優勝

団体戦(男子)

1位 甲陵高等学校

2位 鹿児島工業高等学校

3位 鹿児島商業高等学校

3位 れいめい高等学校

団体戦(女子)

1位 鳳凰高等学校

2位 鹿児島南高等学校

3位 出水中央高等学校

3位 種子島中央高等学校

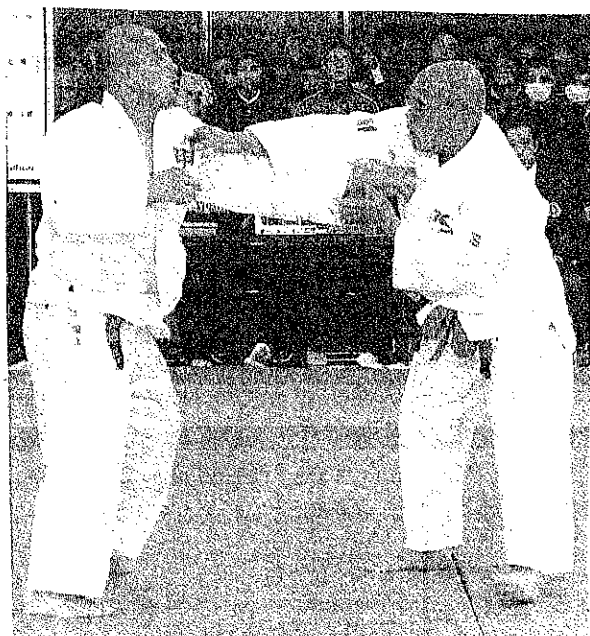
個人戦(男子)

60kg級

1位 鞘脇 健太 (れいめい高等学校)

2位 前田 力丸 (鹿児島実業高等学校)

- 73kg級
 1位 遠矢 昂拵 (れいめい高等学校)
 2位 中釜 貴文 (鹿児島商業高等学校)
- 81kg級
 1位 茅野 圭祐 (鹿児島商業高等学校)
 2位 上中別府健 (甲陵高等学校)
- 90kg級
 1位 山平 隆太 (甲陵高等学校)
 2位 矢櫃 晃生 (鹿児島情報高等学校)
- 無差別級
 1位 溝口 恵祐 (鹿児島工業高等学校)
 2位 秋山 湧希 (鹿児島情報高等学校)
- 個人戦(女子)
 52kg級
 1位 西村和華子 (鹿児島南高等学校)
 2位 児玉 千春 (鹿児島南高等学校)
- 57kg級
 1位 新村 夏美 (鹿児島南高等学校)
 2位 小林 愛鈴 (鳳凰高等学校)
- 63kg級
 1位 松原 美穂 (種子島中央高等学校)
 2位 丸尾 薫 (鳳凰高等学校)
- 70kg級
 1位 長野 希実 (鳳凰高等学校)
 2位 蔵菌めぐみ (鹿児島南高等学校)
- 無差別級
 1位 稲森 奈見 (鹿児島南高等学校)
 2位 吉時 恵 (鹿児島南高等学校)



・鹿児島県柔道選手権大会

・鹿児島県女子柔道選手権大会

1月30日(土) 鹿児島アリーナ武道場

男子 青木 (鹿屋体大) 連覇

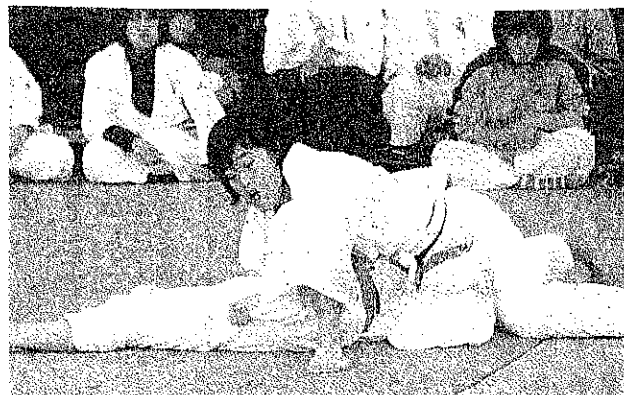
女子 稲森 (鹿南高) 初優勝

(男子)

(女子)

- | | |
|----------|----------|
| 1位 青木 和明 | 1位 稲森 美咲 |
| 2位 濱田 敏徳 | 2位 森崎由理江 |
| 3位 堂前 賢吾 | 3位 稲森 奈見 |
| 3位 帖佐 大輔 | |
| 5位 中原 史貴 | |

※ 男子は、3位まで、女子は、2位まで、3月の九州柔道選手権大会及び九州女子柔道選手権大会に出場する。



【鹿児島県柔道会だより第14号訂正記事】

・県下少年学年別柔道大会

6月20日(土) 鹿児島アリーナ武道場

- ◇男子4年生(40kg級)
 1位 吉牟田悠斗 (青雲)
 2位 永吉 仁 (柔心館)
- ◇男子4年生(40kg超級)
 1位 吉村 太一 (光武館)
 2位 吉野 弘人 (野田)
- ◇男子5年生(45kg級)
 1位 田中 秀吾 (かわなべ)
 2位 中川 峻 (志布志)
- ◇男子5年生(45kg超級)
 1位 湯又 晃生 (青雲)
 2位 大脇 充倫 (正道館)

- ◇男子6年生(50kg級)
1位 内村 光暉(光武館)
2位 前迫 祐輝(青雲)
- ◇男子6年生(50kg超級)
1位 半渡 賢太(南界)
2位 美園 篤也(西之表黒潮)
- ◇女子4年生(35kg級)
1位 有野 美優(青雲)
2位 清水 美穂(清原)
- ◇女子4年生(35kg超級)
1位 島 千素香(西之表黒潮)
2位 小原 理生(国分西)
- ◇女子5年生(40kg級)
1位 瀧川 琳花(正道館)
2位 吉元 萌華(柔心館)
- ◇女子5年生(40kg超級)
1位 古市 真愛(西之表黒潮)
2位 八郷瑛美里(米倉柔道館)
- ◇女子6年生(45kg級)
1位 幸田 奈々(末吉)
2位 中川 葵(青雲)
- ◇女子6年生(45kg超級)
1位 前野 彩(かわなべ)
2位 宮崎 蘭(光武館)

女性の柔道活動の促進について!

女性柔道指導者の資質向上と全柔連登録の増進を目指して、女性柔道指導者登録推進事業を行なうことになりました。

鹿児島県の現状は、女性の場合、高校・大学卒業後現役を引退してからの活動が不明な方が多く、また、柔道を指導している教員の場合でも転勤等で柔道部が無かったり、柔道の顧問教師を外されたりすると柔道と無縁になる方が多いようです。

現在、鹿児島県柔道会では、女性柔道指導者登録推進事業を促進するために「楽しく柔道に参加してみませんか!」というキャンペーンで女性柔道の仲間づくりに賛同していただける方を募っています。

私たちは、柔道情報の共有を含め引退後も楽しく柔道活動が出来たら、素晴らしい人生になると確信しています。また、会員になられた方に柔道活動をサポートできるような柔

道情報を提供するためにも、賛同して頂ければ有り難いと思っています。

女性の柔道指導者以外の方でも、この活動への参加者を募っています。各種の柔道大会等での接待や競技役員等のボランティア活動に協力していただける方や柔道が大好きな方の参加も喜んでお引き受けいたします。

女性の柔道指導者が、伸び伸びと活動できる女性柔道指導者登録推進事業を促進します。この活動を行なうために、女性指導者の連絡名簿を作成しています。御賛同頂ける方は、鹿児島県柔道会まで、御連絡下さい。

(財)鹿児島県柔道会(担当 中尾 小都枝)
〒892-0853 鹿児島市城山町2-21
電話 099-222-7770
FAX 099-222-6300

(発起人・賛同者)中尾小都枝(日置地区)川野久美子(鹿児島高校)町永里香(横川中学校)宮久保美鈴(谷山中学校)安齋彩華(鹿児島市)古川しげみ(出水中央高校)岩松佳代(開陽高校)遠藤百子(伊敷中学校)福島三鈴(蒲生中学校)宮元成美(鹿児島県警)上中別府宏美(学生)南小百合(鹿綜警)鉛山葵(鹿綜警)羽生優紀子(公務員)

★本県初の女性4段誕生!

中尾小都枝4段

安齋 彩華4段

主な行事予定(2月~5月)

2月14日(日) 県下中学校新人柔道大会
2月28日(日) 県下少年新人柔道大会
4月24日(土) 県柔道会定期総会
5月13・14日 県柔道指導者講習会
5月19・20日 県高等学校柔道競技大会
【編集後記】10年後に2回目の鹿児島国体が開催される予定になっています。この鹿児島国体を成功させるために、国体に向けての選手強化に着手しなければならない時期になってきました。鹿児島県柔道会の本部と支部が一丸となって選手の発掘・強化にがんばりましょう。 チェスといけ!